

授業科目	ビジネスと法					単位	2	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO31505J	
開講年次	2・3・4 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP2-1 DP3-1			
担当教員	福田 達也							
授業概要	ビジネスに関連する法制度は多種多様であり広範囲に及ぶ。代表格である商法や会社法等は、一般法である民法の基礎理論を捉えた上でなければ理解することが難しいため、本講義ではまず民法の基礎としての契約理論等を学ぶことからスタートする。また、ビジネスは消費者との関係性が重要であるため、消費者保護法、製造物責任法等について理解しておく必要がある。さらには、我が国でも注目されつつあるパテントビジネスに関する法制度をとり扱うことによって企業の事業戦略および知的財産マネジメントを学んでいく。							
学生が達成すべき行動目標	1. 債権・債務関係および契約の基礎を理解し、説明することができる。 2. 消費者保護法および製造物責任法の基礎を理解し、説明することができる。 3. パテントビジネスに関連する法制度についての基礎を理解し、説明することができる。 4. ビジネスに関連する商法および会社法の基礎理論を理解し、説明することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	15					35	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	20	15					35	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10	5					15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10	5					15	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ビジネスに関連する法制度の基本的な知識をよく理解し、様々な社会的問題を考える際に応用することができる。 関係する学説や判例の内容についてよく理解し、他の人に正確に説明することができる。				ビジネスに関連する法制度の基本的な知識を身に付け、それを他の人に説明することができる。 関係する学説や判例の内容について、他の人に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:ガイダンス(福田 達也) 本講義の進め方を説明し、ビジネスに関する法制度			講義 小テスト		復習:該当部分の復習		60

	について、概略を解説する。			
2	テーマ:契約総論(福田 達也) 債権・債務関係の成立、債務不履行、契約の締結・成立要件等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
3	テーマ:契約各論(福田 達也) 各種の契約について解説する。贈与、売買、交換、消費貸借、使用貸借、賃貸借、雇用、請負、委任、寄託、組合、終身定期金、和解等の典型契約について概略を解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
4	テーマ:消費者保護法(福田 達也) 民法と消費者保護法の関係、契約の解除、消費者保護法に関連する事案、契約の取消・無効の効果等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
5	テーマ:製造物責任(福田 達也) 不法行為の成立要件、種類、製造物責任等について解説する。製造物責任法に関して、企業側からの視点および消費者側からの視点に立ち、両者の相違点等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
6	テーマ:パテントビジネス(福田 達也) 知的財産権(特許権、実用新案権、商標権、意匠権、著作権、不正競争防止法等)、パテントビジネスについて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
7	テーマ:商法の基本構造(福田 達也) 民法と商法の関係、商法の起源、特色、全体構造について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
8	テーマ:商人(福田 達也) 商法の適用対象、商人の概念と商行為について、営業、営業能力、営業所、商号等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
9	テーマ:商業使用人(福田 達也) 商業使用人とは、支配人の地位と権限、表見支配人、商業登記等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
10	テーマ:商行為法(福田 達也) 商行為の種類と特権、商事契約の申込と効力、商人の営利性等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
11	テーマ:会社の設立(福田 達也) 会社の営利性・社団性・法人性、会社の設立手続の概要等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
12	テーマ:株式会社の基本構造(福田 達也) 株式会社の特徴、株主の地位、株主平等の原則等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
13	テーマ:会社の機関(福田 達也) 取締役(会)、代表取締役、取締役の資格・権限・任期、監査役(会)等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
14	テーマ:株主(福田 達也) 株主の意義、株主総会、株主の多様化とコーポレートガバナンス等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
15	テーマ:手形・小切手(福田 達也) 有価証券について、手形・小切手とは、為替手形、約束手形等について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高等学校までの社会科等の基礎知識が必要になります。			
テキスト	指定なし 必要に応じてプリント等を配布予定			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：石川明・池田真朗ほか編集『法学六法 2016 年版』信山社 参考図書：『現代法学入門』有斐閣 等々			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業中に取り扱った内容について整理・復習するだけでなく、図書館や書店等でビジネスに関する法制度に関連する文献を探して読んでみましょう。また、常日頃から社会的問題に関心を持ち、新聞などを読むようにしてください。			
達成度評価に関するコメント	試験および小テストの内容については、授業の中で指示・説明をします。			